

カラダ洗いに
新事実!!

だって、カラダも顔と同じ
魅せるお肌の一部でしょ!

洗いながら、 お風呂で美肌づくり派、急増中

仕事もオシャレも恋も！先取り女子は入浴タイムも前向きです。

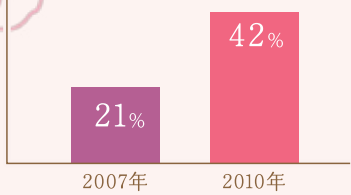
お風呂でカラダを洗うということ、それは汗や汚れを落とすための当たり前の行為、
と、言いたいところですが……実は最近の調査によると、
女性、とりわけ仕事にオシャレに恋に前向きな先取り女子たちはお風呂でのカラダ洗いを
「肌をキレイにするための美容行為のひとつと、とらえている！」という
今までにない注目の新事実が見えてきました。



落とす→つくるへ。
34%が美容・美肌づくりのために
カラダを洗っている！

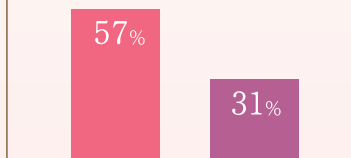
先取り女子がお風呂でカラダを洗う目的を聞いてみると、カラダを洗うのは、
汗や汚れを落とすためだけではなく、
肌をケアして、乾燥を防ぎたい。肌をリラックスさせたい。肌をマッサージして
血行をよくしたい。等、化粧品やスキンケアを連想させるような
肌ケア・美肌づくりへの意識、期待感の高い回答が目立って増えています。
先取り女子の答えを女子全体と比較してみると、約2倍の34%、
3人に1人が美容・美肌のためにカラダを洗っていました！
日頃から、約80%がカラダの乾燥を実感している先取り女子たちにとって
美肌づくりは、今や顔だけではなくカラダへ。鏡の前だけではなく、お風呂でのカラダ洗いも
大切な美容行為になってきたようです。

〈ボディ手洗い派の比率*〉



※「手で洗う」「手と用具で洗う」と答えた方の合計
(20~50代女性 n=1000 当社調べ)

〈手で体を洗う理由〉



(20~50代ボディ手洗い派女性 n=179 2010年 当社調べ)



顔と同じ!カラダの美肌づくりは「手洗い」が当たり前!

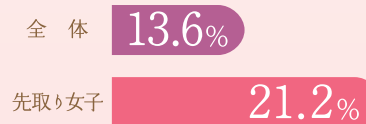
以前のレポートでもお知らせしていますが、グラフにあるように2007年は、カラダの手洗い派は21%でした。ところが3年後の2010年にはなんと、いきなり42%に倍増!なぜ、このように増えたのかと考えると、お風呂でのカラダ洗いが汚れを落とすという清潔行為だけではなく、「落とす」から「つくる」へ、カラダ洗いの意識が美容行為のひとつへと変化していく中で「カラダも顔と同じ魅せる肌の一部だから、同じように優しく洗うのが当然」「肌への刺激や負担を出来る限り減らして、肌を守りたい」「マッサージするように洗って、肌を気持ちよくリラックスさせてあげたい」等の、気持ちが高まり、その結果、カラダの美肌づくりのためには「さらばゴシゴシ洗い!」「優しく手洗いがベスト!」先取り女子たちにとって手洗いはもはや、当たり前の事実になりました。



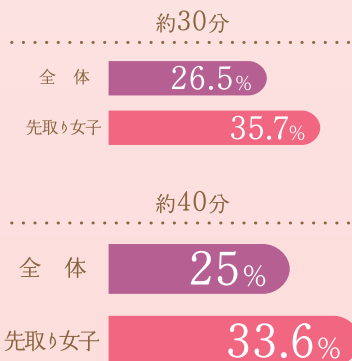
美肌づくりに絶対、欲しいのは! クッション性の高い泡。

カラダの美肌づくりのために、先取り女子はボディソープ選びにもとことん、こだわります。低刺激であることはいうまでもなくその上での一番のこだわりは、泡です。クリーミーな泡、香りのよい泡、キメの細かい泡、泡にもいろいろありますが、欲しいのはクッション性の高い泡!クッション性、つまり弾力がある泡は手洗いしても、泡がベチャンコにならず、手と肌の間でクッションになり、摩擦刺激をおさえてくれるので肌に負担もかけず、優しく洗えるのです。低刺激のクッション性の高い泡、それはまさに先取り女子のカラダ洗いに欠かせない、新必需品なのです。

〈クッション性の高い泡を
求める比率〉



〈休日のお風呂時間〉



休日はゆったり、ふんわり、美肌づくり、40分

女子全体の平均入浴時間は、平日の場合は約20分以下です。しかし、休日ともなると!一気に時間が延びて、先取り女子は3人に1人が実に40分も入浴を堪能しています。40分もの時間、一体、お風呂で何をしていますか!肌を洗いながら、マッサージする...半身浴を楽しむ...音楽を聴く...お気に入りの本を読む...等、さすが先取り女子です!手洗いでカラダの美肌づくりをしながら、仕事や人間関係でためた疲労&ストレスを一気に解消、身も心もスッキリ、キレイにするお楽しみをしっかりと増やしているようです。